



不定期通信 昌プロ ニュースペーパー

SHO-PRO. NEWSPAPER



昌文社の企画者・制作者が語る 読んで楽しい制作物の小話

拝啓 初冬の候 皆様いかがお過ごしでしょうか

この度 弊社の制作部・企画部門 事業推進部による

新しい通信「昌プロ ニュースペーパー」を発刊することとなりました

これまで 様々なものを作り上げてきた昌文社のプロダクション部門から

より具体的で応用の効く制作例などを 皆様の元へお届けできればと思っております

「なるほど」とワクワクするような内容をお送りできるよう 編集者一同 努めてまいりますので

どうか楽しみながらお読みいただければ幸いです

慌ただしく感じる師走ですが お身体に気をつけて どうぞ良いお年をお迎えください



敬具

株式会社 昌文社 制作部・企画部門 事業推進部
編集委員一同

今回の使用例紹介
NEW PRESENTS

貼ってはがせる剥離型シート
「自己吸着ターポリン」こんな使い道があるんです

○ 飲食店での利用例

周年記念を祝して、自己吸着タイプのシートを利用し店内の装飾をしています。

自己吸着の原理を利用したシートなので、好きな時に貼れて、好きな時に外せるため、一時的なキャンペーンやイベントに最適です。また、粘着が残らないのが自己吸着の良さなので、驚くほど簡単に撤去ができます。

これまでのシールタイプのシートでは、剥がす際にどうしてもネバネバが残ってしまい、シール剥がしなどを使用して頑張って剥がさなければなりませんでした。しかしその手間は全くなるため、導入を気軽に行うことが可能となりました。「お試し」も躊躇せず行っていただけるのでは…?

丸めて保管が可能な上、再利用もできるため、時期や日程を選ばないデザインをご用意すれば、何度もお使いいただけます。



○ 周年イベントの後はクリスマスに

周年記念の後、季節に合わせたイベント装飾に、簡単チエジングが可能です。

カウンター前面を全て覆っていた周年イベントに対し、違った形状の「自己吸着ターポリン」を用いて、装飾の仕方も自由自在に変えられます。同じ店内、同じアングルからでも、雰囲気の違った店内を演出することができるので、1年中、様々ななかたちで活躍が期待できるシートです。もちろん再利用が可能なので、次年度は違う場所に貼って利用もできます。



商材 を 語 る

自己吸着シートの「自己吸着」とは、粘着を使わない吸着方法で、目には見えないミクロの吸盤状の表面が壁面に貼り付くことで、ノリなどの粘着は残らない上に、強い吸着力を保てる画期的な方法の一つです。

特にこの自己吸着ターポリンは、ツルツルした面はもちろん、壁紙の上や塗装の上、コンクリートの表面や、多少の凹凸のある面（すりガラスの表面など）でも貼り付けることができる、貼る場所を選ばずに活用できます。

また、角張った箇所にも貼れたり、円柱の表面にも貼り付けられるので、これまで気軽にイメージチェンジができなかったスペースにも、自己吸着ターポリンは活躍します。

ぜひ一度、「この場所、雰囲気を変えたいんだよな～」等と、ひと声ご相談くだ



品番 SHT-02-Tp

商材名 自己吸着シート ターポリン

剥離 可

再貼付 可

**貼付
適合場所** 壁・クロス・外壁・天井・
床・ガラス面・柱・家具 等

イラストができるまで

表のご挨拶にも登場した、女の子。制作・企画部門のイメージキャラクターの「せいちゃん」です。可愛らしく一生懸命制作に打ち込む、元気ハツラツなイメージをイラストにしてみました。これからも日々、登場しますので、どうぞ宜しくお願いします。

今月より発行される昌文社制作部と事業推進部による「昌プロニュースペー^バ」。お客様と関われる機会の少ない制作部から、ためになる情報や制作の裏話など、発行を楽しみにしていただけるような内容をお送りしていただけたら、と思っています。

①表現したいこと・イメージを鮮明にする
②ラフ案を描く
③等身や雰囲気をコンセプトと照らし合わせて吟味する
④再度イラストを描き精度を上げる
⑤イラストを決定・最終案を描く・色つけ・ボーズなど展開する

制作部の おしごと

で作業が行われています。

①表現したいこと・イメージを鮮明にする
②ラフ案を描く
③等身や雰囲気をコンセプトと照らし合わせて吟味する
④再度イラストを描き精度を上げる
⑤イラストを決定・最終案を描く・色つけ・ボーズなど展開する

でお見せし、コンセプトや

イラストのタッチなどに相違がないかをご確認い

ただいたり、②～④の工程を何度か重ねることもあ

りますが、最終案ができる頃には、制作者もイラ

ストに対して、とても愛着がわいてきます。それが、

ラシやポスターなどにな

ると、その愛着はひとしお



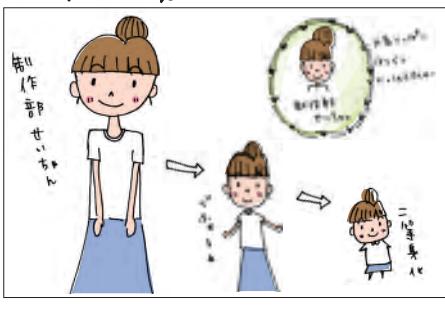
② ラフ案出し



④ イラストの精度をあげる



⑤ イラストの展開



言葉で表現すると何やら難しく感じますが、左の工程見本のよう、徐々に形になってゆく様は、とても楽しいものです。お客様には、一度ラフ案の段階

完成したイラストを気に入っています。いただき、さらに別の制作物へ使用して頂けたり、増刷のお話をいただいたり：制作者としてとても幸せな瞬間です。

(長浜記)

最後までお読みいただき、ありがとうございました！不定期発行ですが、次号もよろしくお願ひします！

